

100歳おめでとうございます

3月に満100歳を迎えた人に、市長からのお祝い状とお祝金が贈られました。



内川 キヨコさん
大正4年3月8日生



市内の障がい者福祉施設に ロアッソ熊本の観戦チケットを贈呈

3月1日、ヴィーブルで、まごころふれあいバザーin こうしを開催しました。これは、障がい者福祉施設で作られた作品の販売や活動のPRにより、障がい者の社会参画を促す目的で開催されたものです。バザーには市内7施設が出店。陶器やスタンドグラス、木工製品などの各種手工芸品、洋菓子、食バザーに加え、市役所からも若手職員がフリーマーケットを出店し、会場は多くの来場者でにぎわいました。

また、バザー開催に合わせて市と(株)アスリートクラブ熊本（ロアッソ熊本）が協同し、市内の障がい者や障がいのある子どもたちにロアッソ熊本の観戦チケット贈呈を企画。9日の贈呈式では、同社の池谷社長から施設にチケットが贈呈され、同社には市からフリーマーケットの収益金が寄付されました。



贈呈式でロアッソくんと交流する子どもたち

高齢者が住みよいまちを目指して 模擬地域ケア会議を開催

3月17日、御代志市民センターで模擬地域ケア会議を開催しました。地域ケア会議とは、医療、介護などの多職種が協働し、高齢者が抱える個別課題や地域課題を話し合う会議です。

今回は、県の地域ケア会議アドバイザー派遣事業を活用し、社会福祉士の岡山隆二さんを迎えて模擬的に会議を実施。市内外の居宅介護支援事業所のケアマネジャーなど約130人が熱心に傍聴しました。



アドバイザーの岡山さん



職員が家族や主治医、近所住民役を熱演

日頃の消防活動が認められて受章 消防功労者消防庁長官表彰式

3月6日、東京都ニッショーホールで平成26年度消防功労者消防庁長官表彰式が行われ、市消防団の中川副団長が永年勤続功労章を受章しました。また、防災思想の普及や消防施設の整備などが優秀と認められる消防機関として市消防団が表彰旗を受章。

塚本団長は、「受章できたことで、消防団員の士気を高め、地域の防災対策をますます推進できるものと確信しています」と市長に報告しました。



左から、市長、中川副団長、塚本団長、志垣副団長

1年間の成果を発表 コミュニティ学習発表会

3月8日、野々島、中央、黒石、須屋、それぞれのコミュニティで学習発表会が開催され、延べ787人の講座生が1年間の練習の成果を発表しました。

講座生たちは、バトントワリングやダンスなどの華やかなステージ発表や美しい合唱、力強い空手の演武などを披露。作品展示では書道や絵画、生け花、陶芸、写真、俳句など情緒あふれる作品が多数出展され、学習発表会に華を添えていました。



合志市陶芸会の作品
(中央コミュニティ)



正伝空手道
(黒石コミュニティ)

交通安全を願って 新一年生へ“ゆるや傘”の贈り物

3月9日、菊池自動車学校・熊本ドライビングスクール（KDS）から、雨の日の交通安全を願って新入児童839人分の“ゆるや傘”が贈呈されました。

KDSの永田社長は、「雨の日は視界も悪く路面も滑りやすい環境で、事故発生件数は晴れた日の約5倍。この傘を見たら“思いやり運転・ゆるやか運転”をドライバーの皆さんに呼びかけ、新一年生の安全な通学に役立ててほしい」と思いを語りました。



“ゆるや傘”を持つ市長（左）とKDSの永田社長（右）

春の訪れを告げる 竹迫初市開催

3月1日、ヴィーブルで竹迫初市が開催されました。この市は江戸時代に竹迫地域で開かれていましたが、明治時代始めに竹迫の商店主などが地域の活性化のために再興し、現在の形の「初市」となりました。

当日はあいにくの雨となり、会場をヴィーブル館内に移しての開催となりましたが、あんもちだご汁や市飴などの販売のほか、バナナのたたき売りや開運初市じゃんけん大会でにぎわいました。



バナナのたたき売りは特に大盛況でした

東京エレクトロン九州 NPO等支援事業助成金贈呈式

3月9日、2014年度東京エレクトロン九州NPO等支援事業助成金の贈呈式が行われました。この事業は、地域の社会的課題の解決に積極的に取り組むNPOなどを支援する目的で同社が実施しているもので、公募で決定した6団体に助成金が贈呈されました。

本市からは、地域の高齢者・子ども・障がい者に対して地域住民による生活支援を行なう「ぽっかぽかすずかけ」が助成を受けることとなりました。



助成対象団体の皆さん